

江崎グリコと切手キャンペーン

[水谷 行秀] 2

カラー連載

発行150年記念・小判切手ここが見どころ! ⑧

稲藁を原料とした「旧小判」の用紙 [柴田 公子] 1

郵趣風土記〜マテリアルでたどる地域郵便史〜④ [板橋 祐己]

大阪電信創業と川口局の関係 8

封書10円時代の“記念・特殊切手”の楽しみ! 使用面編③ [横山 裕三]

「和文機械印」 10

カラー版 魚木式郵趣⑩ [魚木 五夫]

「カタパルト郵便」「ターンド・カバー」 12

押さえておきたい「日本切手の壺」⑤ [山口 充]

片面印刷の往復はがき 16

カラートピック

発表! 2025年発行日本切手人気投票 14

トピック

スイスの郵便史ミュージアムを訪問 [斎藤 環] 23

連載

著名人の手紙 ①74 [新垣 千尋]

女優 新珠三千代 31

郵趣家の書斎 〜さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて ⑩⑩ [佐伯 幸一]

魚木五夫さん〜“魚木式”を形づくるもの〜 32

潜入ルポ! 切手ワークショップに突撃 in 切手の博物館⑤ [猿渡 千恵子]

「アルバムリーフ作成」に挑戦! 34

JPS研究会発信! ここに注目! 収集のポイント⑤

菊・田沢切手研究会とは [山口 充/菊・田沢切手研究会] 36

切手三昧〜人生は切手と共に ⑦ [山崎 好是]

20歳のサザランド(大学時代) 38

今月のミニボックス⑩〜開催報告〜

アメリカ切手展2026 america'26 39

風景印ピックアップ⑦

定期開設局(季節局)の風景印 40

丸ごと! 世界新切手ニュース(70ヵ国766種を掲載)

編集部おススメ! 話題の新切手から ①51 49

ワールドスタンブナウ ②53 [楢山 哲太郎]

黄色のトラックスーツは少年時代の憧れ 50

『ビジュアル版』(図版ページ) 52

『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

8月のイベント・スケジュール 18

日本新切手ニュース:「くまのプーさんとなかまたち」ほか 20

郵趣の目・国内情報: 10月1日よりゆうパック基本運賃など値上げほか 25

郵趣の目・海外情報: 米・建国250年記念人気投票 1位「ミスター・ロジャース」ほか 27

切手の博物館ニュース: きて★みて★きって2026ほか 29

BOOKS:「斎 享 二つ折りはがき」/「切手でたどる活版印刷のあゆみ」 41

読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

日本郵趣協会創立80周年記念祝賀会開催案内 75

2026年度郵趣活動賞・郵趣文献賞受賞者紹介 76

STAMP-SHOW2026 寄附金ご協力者名簿 77

研究会一覧/研究会・支部定例会 78

JAPEX2026 出品・寄附金募集/次号予告 ほか 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

日次 2026 8 月号

[Whole No.930] Vol.80 No.8

郵趣

巻頭言

日本郵趣協会創立80周年

1月号の巻頭言で書きましたように、本年、日本郵趣協会は創立80周年を迎えました。皆さんと共に歩んできた80周年を記念し、祝賀会を企画しました(75頁)。多くの皆さんとこの節目を祝うことができれば幸いです。

本協会は80年にわたり、日本における郵趣の基盤としての役割を果たしてきました。研究会や雑誌等を通じて研究成果を発表し、その集大成を単行本やカタログ、展覧会で広く紹介してきました。単行本やカタログは多くの郵趣家に共有されますが、雑誌記事は時の経過とともに埋もれてしまうことがあります。そこで、これまで発行してきた『郵趣研究』などの研究誌と機関誌『郵趣』の記事タイトルをインターネットで検索できるよう準備を進めています。企画から実作業までIT化推進委員会にご尽力いただき、祝賀会でお披露目できる見込みです。

こうした雑誌が郵趣の発展に寄与してきたのは、郵趣家による先進的な研究の積み重ねによるところが大きい。そこで、優れた研究によって日本郵趣の発展に顕著な成果を上げ、今後も活躍が期待される方を、新たに「日本郵趣協会フェロー」として認定することとしました。祝賀会では、その認定式も行います。

また、本協会の事業は多くのボランティアに支えられています。祝賀会では、日頃のご尽力への感謝を込めて表彰を行います。

日本郵趣協会創立80周年を皆さんと共に祝い、その歩みを振り返るとともに、さらなる発展への契機したいと思います。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

約5億年前のカンブリア紀前期には、生物がまだ陸上には進出していませんでした。水中に生息する多様な生物は「生物鉱化作用」という過程を経て、硬い外殻や内部構造を発達させていました。小型シート(52・65頁)には、カンガルー島の「エミュー・ペイ頁岩」層から化石が発見された生物が、最新の研究成果を反映した姿で描かれています。